

JFA 第 47 回全日本 U-12 サッカー選手権大会茨城県大会 県西地区予選実施要項

(趣旨)

日本の将来を担う子供たちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。将来に向けて大きく成長するための準備として、この年代にふさわしいゲーム環境を提供することにより、育成年代で年代に応じた豊かな経験を積み重ねる中で自ら成長していくことのできるようサポートする。子供たちや周囲の大人が、サッカー、スポーツのすばらしさに触れ、生涯にわたって楽しみ、かかわっていけるよう、文化として醸成していくことを目指す。

1. 主 催：(公財)日本サッカー協会／(公財)日本スポーツ協会 日本スポーツ少年団／
読売新聞社／(公財)茨城県サッカー協会

2. 主 管：公益財団法人 茨城県サッカー協会 第 4 種委員会

3. 後 援：日本テレビ放送網／報知新聞社

4. 協 賛：Y K K／花王／日清オイリオグループ／ゼビオ／日本マクドナルド

5. 茨城県大会日程：

第 1 日目：11 月 3 日(金祝) 1 回戦・2 回戦 県内 16 会場

第 2 日目：11 月 12 日(日) ベスト 16・準々決勝 中央地区 2 会場

第 3 日目：11 月 19 日(日) 準決勝・決勝 IFA フットボールセンター

6. 県西地区予選日程：

第 1 日目：10 月 1 日(日) (予備日：10 月 7 日(土))

第 2 日目：10 月 8 日(日) (予備日：10 月 9 日(月祝))

会場については、抽選会時に決定

7. 参加資格：

①2023 年度日本サッカー協会第 4 種に登録(団体・選手共)済みで、U-12 リーグ戦に参加していること。県大会出場チーム数は、各地区下記の通り。

県東：8(2) 県西：11(3) 中央：18(4) 県南：20(5) 県北：7(2)

() は各地区リーグ戦によるシードチーム数

②エントリー選手は 20 名以内とする。ただし、6 年生のみで 20 名を超えるときの登録は認める。

③地区大会から本大会に至るまで同一参加選手が異なる「加盟チーム」への移籍後、再びこの大会に参加することはできない。

④有資格審判員を(原則として)2 名帯同できること。

⑤スポーツ傷害保険に加入済みであること。

⑥参加選手は健康であり、保護者の同意を得ること。

⑦引率指導者はチームを掌握する責任ある指導者であること。また、ベンチ入りするチーム役員の内 1 名以上が JFA 公認指導者ライセンス(D 級コーチライセンス以上)を有し、常時ベンチ入りできること。

8. 大会形式：

(1)参加チームを各ブロックに分けリーグ戦を行う。

(2)順位決定：リーグ戦の順位決定は、勝ち点（勝ち3点・分け1点・負け0点）の多いチームを上位とする。勝ち点の合計が同一の時は次の順により決定する。

- ①得失点差の多いチーム
- ②総得点の多いチーム
- ③当該チーム同士の対戦成績
- ④PK方式（PK方式は2チームの時行い、それ以外は抽選とする）

1日目 リーグ戦方式で順位を決定し、各組1位が県大会出場チームとする。

6チームリーグの場合は、3チーム同士のリーグ戦を実施後1位同士による代表決定戦を実施し、勝者が県大会出場チームとなる。敗者は、2日目代表決定リーグ戦へ出場する。

4チームリーグの場合は、総当たりのリーグ戦を行い、1位が県大会出場チームとする。2位チームは2日目代表決定リーグ戦へ出場する。

2日目 代表決定リーグ戦

組合せは、1日目リーグ戦のブロック名の枠をそのまま採用し、リーグ組分けを行う。

(ABC) (DEF) 3チームによるリーグ戦で各組1位が県大会出場チームとする。

9. 競技規則：

本大会要項に定められている事項を優先し、当該年度の（公財）日本サッカー協会「8人制競技規則」による。ただし、「8人制競技規則」に記載がない場合は2022/2023年サッカー競技規則による。

10.競技規定：以下の項目については本大会の規定を定める。

①フィールドの大きさ：68m×50mを基本とする。

ペナルティーエリア=12m

ペナルティーマーク=8m

ペナルティーアーク=半径7m

センターサークル=半径7m

ゴールエリア=4m

ゴールの大き=少年用（W5m×H2.15m）

交代ゾーン=ハーフウェーラインから左右3m

②試合球は公認4号球とする。（各チーム持ち寄りとする）

③試合時間：30分(前後半各15分)又は40分(前後半各20分)とする。

ハーフタイムのインターバル(前半終了から後半開始まで)：原則5分間

④審判員：1人の主審と第4の審判員1人及び副審判員2人で運営する。

⑤メンバー表：各試合開始30分前までに本部へ1部提出する。

メンバー表にはベンチ入りするJFA公認指導者D級コーチライセンス保有者の名前を記載し提出する。

⑥競技者の数：8名（8名に満たない場合は試合を行わず、得点0対3とし敗戦したものとみなす。試合途中で怪我等による人数不足により8名に満たなくなった場合には、そのまま続行する。）

⑦交代できる競技者数：8名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。（交代要員はユニフォームと異なる色の上着（ビブス等）を着用すること）

⑧競技者が交代要員と交代する場合、次のとおり行う。

・交代が行われることについて、事前に審判員に通知する必要はない。

・交代して退く競技者は交代ゾーンからフィールドの外に出る。

・交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。

・交代は、ボールがインプレー中またはアウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。ただし、交代で退く競技者が負傷している場合は主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。

・ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合停止中に入れ替わることができる。

- ⑨ベンチに入ることの出来る人数：交代要員 8 人以内、役員 2 名以上 3 名以下。
(これに反した場合には、チーム役員に対し大会規律委員会より懲罰を科す)
なお、役員 3 人のうち 1 人以上が JFA 公認指導者ライセンス(D 級コーチライセンス以上)を有する事。
- ⑩負傷した競技者の負傷程度を確かめるために入場できる人数：2 名以内
- ⑪テクニカルエリアを設置する。

11.懲 罰：

警告①警告処分：本大会の異なる試合で警告を 2 回受けた者は次の試合に出場できない。

退場②退場処分：次の試合に出場できない。以後の処置は大会規律委員会に委ねる。

競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。

- ③チーム役員：監督・コーチ他が判定に対して異議を唱えたり、選手に対して罵声などネガティブなコーチングを行い、主審から一度注意を受けた後に、再度同様な行為があった場合は、主審の判断により警告・退場処分とし、退場の場合は施設内にいることを認めない。その後の処置は大会規律委員会に委ねる。

- ・大会規律委員会は（公財）茨城県サッカー協会第 4 種委員会県西地区委員長の元、理事及び役員で組織する。
- ・（公財）茨城県サッカー協会諸規程および本記載事項にない事例に関しては、大会規律委員会にて決定する。
- ・地区予選から県大会までは懲罰規程上同一競技会であり、地区予選終了時点で退場・退席による未消化の出場停止処分は県大会において順次消化する。（県大会と全国大会も懲罰規程上の同一競技会とみなし、同様な取扱となる）

12.ユニフォーム：

- ①ユニフォーム（シャツ、ショーツおよびソックス）は、正のほかに副として、正と色彩の異なり判別しやすいユニフォームを用意し、各試合に必ず携行すること。また、フィールドプレーヤーがゴールキーパー時に着用するピブスについては、正・副ユニフォームと色彩の異なるものを用意すること。
- ②フィールドプレーヤーがゴールキーパーとして出場するときは、フィールドプレーヤーのユニフォームにピブス着用での対応を可とする。ただし、ゴールキーパーがフィールドプレーヤーとして出場するときは、フィールドプレーヤーのユニフォームを着用すること。
- ③ユニフォームの決定は主審が両チームの立ち合いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。また、主審は両チームの各 2 組のユニフォームのうちから、シャツ・ショーツ・ソックスのそれぞれについて、判別しやすい組合せを決定することができる。
- ④ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
- ⑤アンダーシャツの色は問わない。ただし、チーム内で同色のものを着用する。
- ⑥アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし、チーム内で同色のものを着用する。
- ⑦シャツの前面・背面にはエントリー用紙に登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号については付けることが望ましい。
- ⑧ユニフォームの色、選手番号はエントリー用紙提出以降の変更は認めない。
- ⑨その他の事項については（公財）日本サッカー協会「ユニフォーム規程」に従うものとする。

13. 参加申込：

「エントリー用紙」4 部および「個人情報及び肖像権利用に関する同意書」1 部は地区大会抽選会時に地区事務局へ提出する。各地区本大会出場チームのエントリー用紙 2 部については、地区事務局が取り纏めのうえ、本大会抽選会時に大会事務局へ提出する。

14.抽 選 会：2023年9月24日（日）

開 会：午後6時（受付開始：午後5時30分から6時締切り）

会場名：坂東市生子菅農業構造改善センター

住 所：茨城県坂東市生子新田 879-1（生子運動公園サッカー場となり）

※各チーム責任者1名での参加お願い致します。

※同日、同時刻より審判員講習会を実施します。各チームより1名以上出席をお願いします。

15.そ の 他：

- ①チームはエントリー選手の選手証(写真貼付されたもの)を試合会場に持参すること。不携帯の選手は当該試合への出場を認めない。(web my ページから出力された選手証(写真貼付されたもの)チーム一覧表でも認める。)
- ②第1試合競技開始時間の50分前に代表者ミーティングを開催する。代表者ミーティングにおいては、**選手証の提出、帯同審判員審判証の確認(スマホ対応可)、指導者ライセンス証の確認(スマホ対応可)**、競技規定の確認、ユニフォームの決定(**正副ユニフォーム、着用ビブス(GK用・ベンチ用)**を持参すること)、諸注意事項の説明等を行う。
- ③有資格審判員2名が帯同出来ない時、指導者ライセンス保持者が帯同出来ない時、又は代表者ミーティングに遅刻した時は失格とする。失格の決定は代表者ミーティングで決定すること。
※失格するチームがある時の順位の決定
 - ①失格のチームを除いた試合結果により順位を決定する。
 - ②失格のチームは既に決められた日程での試合を行うことを義務付ける。
- ④ベンチに入るJFA公認指導者D級コーチライセンス以上を有する役員は、JFA公認指導者ライセンス証(写真添付されたもの)を透明なケースに入れ、首から下げて、試合開始前整列時から試合終了時まで掲示すること。透明なケースは各チームが準備し携行すること。(ケースのサイズや色彩は問わない)
- ⑤審判員は試合開始整列時にベンチ入り役員のJFA公認指導者ライセンス証を確認する。
- ⑥主催者側は大会中の事故、けが等について一切の責任は負いません。
- ⑦大会予備日の扱いについては、**学校行事（運動会、文化祭、授業参観など学校で行われる行事）による参加不可が発生した場合及び天候不良（WBGT31°以上、台風、浸水、積雪等）による会場使用・利用不可となった場合にのみ活用する事とする。**

問合せ先：（公財）茨城県サッカー協会第4種委員会 県西地区事務局

相澤孝之（メール：yurakira33@gmail.com） 電話：090-1651-7306